

現行計画 (H23策定, H28中間改定)

京プラン2025  
(令和3年策定)

令和7年度末まで延長したうえで、  
現行施策を継続するとともに、  
新たに施策を追加

資料 8 - 2

・状況の変化・新たな課題等の発生  
(市民アンケートやスポーツ団体等へのヒアリング実施)

状況の変化, 新たな課題等

- 3 現行計画改定以降の社会状況の変化と新たな課題
- 新型コロナウイルス感染症のまん延
    - ①ウイズコロナ・アフターコロナ社会での市民スポーツの振興
    - ②地域等における仲間と運動・スポーツをする機会の大幅な減少への対応
  - 本市の危機的な財政状況
    - ③事業の見直しや民間活力の最大限の活用
    - ④スポーツと他分野との融合による新たな価値の創造(都市の成長戦略)
  - ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックの開催
    - ⑤市民のスポーツへの関心と機運の高まりを捉えた市民スポーツの振興
    - ⑥アーバンスポーツへの関心の高まり(増加する競技人口への対応)
  - レジリエンス・SDGsの取組
    - ⑦少子高齢化や地域コミュニティの低下などの社会環境の変化(指導者やボランティア等の担い手不足への対応など)
    - ⑧ウイズコロナや危機的な財政状況の中でも将来にわたり、市民のスポーツ振興を推進していける仕組みの整備
    - ⑨スポーツ団体同士のつながり・連携の充実
  - デジタル化の進展
    - ⑩デジタル技術の効率的, 効果的な活用による市民スポーツの振興
  - 運動部活動改革の推進と地域における子ども・若者のスポーツの機会の充実
    - ⑪令和5年度以降, 休日の部活動の段階的な地域移行に向けた指導者等の人材確保など地域の受皿整備

新たに追加する施策(案)

	課題番号	施策(案)	取組内容
する	③⑧	スポーツ施設の整備・運営における民間活力の更なる活用促進	危機的な財政状況においても、費用負担を抑えながら施設の整備・改修を進めるとともに、管理運営費も含めた経費削減を図るため、PFI等の民間活力の導入・活用促進に向けた検討
	⑥	アーバンスポーツを楽しめる環境づくりの推進	東京オリンピックの開催を受けて、注目が高まっているスケートボードなどのアーバンスポーツについて、関係団体等とも連携しながら、マナーを守って安全に楽しむことができる環境づくりへの取組
	①⑧	新型コロナウイルス感染症対策の推進	スポーツ施設における感染拡大防止対策を徹底するなど、市民が安心・安全にスポーツ活動に取り組める環境の提供
			市民スポーツの普及・振興に大きな役割を果たしている体育振興会やスポーツ推進指導員との連携による、ウイズコロナ・アフターコロナ社会での市民スポーツの振興
	①⑧⑩	ICTを活用したスポーツの推進	密にならないアウトドアスポーツとして、トレイルやサイクリングなどを推進し、健康づくりに加えて、京都の新たな魅力を体感・発見できる機会の創出
みる	④	プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームと連携した地域活性化の推進	京都サンガF.C. や京都ハンナリーズをはじめとするスポーツチームとの連携・協力を一層進め、市民と共に盛り上げるとともに、地域との連携を深め、ひいては地域活性化につながる取組の推進
支える	①②⑦⑧	体育振興会・スポーツ推進指導員の更なる活性化	地域におけるスポーツ振興の原動力である体育振興会及びスポーツ推進指導員について、若い世代をはじめとする新たな参加者や担い手の確保など、更なる活性化に向けた取組の推進
	⑧⑪	部活動改革の推進と地域における子ども・若者のスポーツ機会の充実にに向けた検討	令和5年度以降の中学校等の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、スポーツ庁設置の「運動部活動の地域移行に関する検討会議」で提言される方向性・方策を踏まえ、関係機関と連携した指導者等の人材確保など地域の受皿整備に向けた検討

・市民のスポーツへの関心と機運の高まりを捉えた市民スポーツの振興  
・都市の成長戦略につながる取組の推進  
(スポーツを通じた各種団体間の交流・協力・連携、スポーツと他分野との連携・マッチングの推進) ⑤ ④ ⑨